

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所・放課後等デイサービス りえら		公表日	令和8年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・2クラスを活動内容に合わせて工夫して使っている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・利用人数に合わせて、職員配置を増員し配慮している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・パーティションを上手に利用し、刺激を少なくすることで、仕切りとなった	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・支援室の清掃、遊具の消毒を毎日行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・児発と放デイの部屋が2部屋あり、放デイの部屋が利用児がいない時はクールダウン部屋として利用ができています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・その都度、活動内容やその日の利用児によって対応や、環境設定が必要なので、振り返りの時間を作っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・評価表だけでなく、送迎の際に保護者から意見を聞きだし改善につなげている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・気づいた時に気軽に言える環境を作っている	・事業所内会議の定例化により、療育の情報共有や職員間のスキルアップを図る
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	・自己評価については毎年実施する	・第三者による評価については、運営課題として留めている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・法人内の研修に参加している。また、発達障害の特性と関わり方の勉強会を事業所内で行った	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・月案を毎月作成し、今月の療育目標、活動内容、おやつ献立を記載し配布している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・半年に1回、モニタリングを行い、個別支援計画書の見直しをしている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・児発管が計画案をたて、計画書についての会議を開催し共有している。(会議録参照)	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・児発管が計画案をたて、計画書についての会議を開催し共有している。(会議録参照)	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・担当の相談員との連携も取れて家庭での様子も情報交換している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・5領域に分け、ねらいや、支援内容を具体的に記載されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・活動を定める際に、目標をきちんと持って行っている。振り返りも出来ている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	3	・月案を立てる時に、活動内容についても話し合っ決めていく	・利用者の興味の啓発、活動の活発化のため定期的な教材の購入をおこなう

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		・午前と午後に分けて、集団・個別療育を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・補助の先生用に、個別シートを作成し、個々の特性について事前に確認してから現場で対応をしていただいている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・今日の出来事を業務日誌にも記載している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	3	・ヒヤリハット記録も実施している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・半年に1回のモニタリングと、必要に応じて対面での面談を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・児発管が参加し、会議後は内容について職員間で共有している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・法人内の発達外来受診、リハビリに通っている児に関しては、主治医、リハビリ担当者との連携を取っている。保健師との情報交換も（保健師との連携）	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・園と併用している児に関しては、園と情報交換もしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	・担当の相談員を通して学校とも連携を取っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		・みどり市こども支援部会の中に、事業所ワーキングがあり、その中で勉強会や情報交換会を行っている。 ・園からの依頼で園へ訪問し、気になる子の早期発見、対応の仕方の助言をしている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	・利用者には、保育所等を併用している児もいるので児の通う職員との情報共有には努めている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・連絡帳を通して、利用児の様子を記載し共有している。また、年2回、りえら新聞を通して日頃の様子を掲示している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		・保護者勉強会を、年3回開催した。 *ペアトレ(2日)、特性のある子との上手な付き合い方	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約の時に重要事項説明書を通して説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・相談員とた計画書とリンクさせ、保護者面談を行い確認している。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・計画案の状態では保護者に説明を行い、訂正がないか確認をして同意してもらっている。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・必要に応じて、行っている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・療育参観や保護者勉強会を通して、保護者同士の交流も取れている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・毎月、予定表とりえら新聞を通して発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・鍵付きの書庫に個人情報は保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・絵カードを使って視覚支援でコミュニケーションをとっている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・今後検討していきたい。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・法人内で行っている訓練と一緒に参加している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・法人内で行っている訓練と一緒に参加している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		・アセスメントの時点で、医師からの情報提供書の提出をしてもらっている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・アセスメントの時点で、医師からの情報提供書の提出をもらっている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・月に一回管理者が法人の安全委員会に出席し、結果を職員と共有している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・月に一回管理者が法人の虐待対策委員会に出席し、結果を職員と共有している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・契約時、拘束に関する説明をし同意書をもらっている。		